

# 吉舎中学校給水タンク改修工事設計図

MEMO	(縮小率 : A2=100%,A3=70%)		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 ( 24 (I) 第3940号 ) FAX 0847-67-3808	図面名 表 紙		工事名 吉舎中学校給水タンク改修工事 設計図						
				縮尺	—	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				
												No. A - 0

工 事 概 要

工事名称	吉舎中学校給水タンク改修工事	
発 注 者	住 所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
	氏 名	三次市長 福岡 誠志
施設概要	施設名称	三次市立吉舎中学校
	地名地番	三次市吉舎町吉舎783番地1
	建物用途	中学校
	工事の種類	改修工事（高架水槽）
	構 造	R C造
	階 数	3階建て
	建築面積	1,005.28㎡
	延床面積	2,719.84㎡
	受水槽	高架水槽（高架水槽改修）
	使用人員	生徒52人 教職員 30人 計82人（2026年現在）

工事概要

本工事は、吉舎中学校の受水槽の改修工事です。

既設建物を使用しながらの改修工事の為、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。

また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。

尚、下請協力業者は実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。  
別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。  
不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

I. 工事工程等

①事前に関係者（教育委員会・都市建築課・学校・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し、承諾を得た後工事に着手してください。

②全体の工期は入札要綱の通りです。

II. 工事中の移動及び復旧

①工事等の支障になる物の移動及び復旧等は全て工事請負業者の負担で行ってください。

②工事監理を建築設計事務所に委託しておりますので提出書類等は工事監理者を通して提出ください。

【 注意事項 】

※ 別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料としてください。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨んでください。

尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指示事項 】

① 工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。

② 工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。  
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに請負業者で解決を図ること。

③ 火災等発生しないよう最善の注意をすること。  
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結して保険証書を提出すること。  
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。  
尚、敷地内は全て禁煙とする。

④ 振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。

⑤ 作業場は常に整理整頓を身掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。

⑥ 着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。  
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上遅れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。

⑦ 既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。  
この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。

⑧ 図面を製本し提出すること。 ・ A 4 版 2 部（表紙付、契約用）  
・ A 3 版 部（現場用）  
⊙ A 4 版 3 部（現場用）

⑨ 不明な点については、係員と協議の上施工すること。

⑩ 解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。必要に応じてmanifestoを提出すること。

⑪ 工事着手前に大気汚染防止法第18条の15第1項、3項による調査を行う事。

提出書類一覧 ※提出書類様式は発注者HPからダウンロードして作成の事。 ※提出書類はA 4 又はA3二つ折とする事。  
※提出書類表紙(工事打合せ簿)に監理者押印欄を記入の事。

工事名	吉舎中学校給水タンク改修工事		請負業者	
	項 目	部数	提 出 期 日	備 考
○	1 着手届（発注者書式）	3	契約後速やかに	工事監理者にも提出の事
○	2 主任技術者・監理技術者・現場代理人通知	3	14日以内	雇用関係証明書添付
○	3 同上誓約書及び経歴書（書式は自由）	3	14日以内	免許証等（写し）添付
○	4 工事カルテ（コリンズ）	3	10日以内	請負契約500万円以上
○	5 詳細基本工程表	3	14日以内	A 3 版程度
○	6 見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	14日以内	A 4 版
○	7 施工体制台帳及び施工体系図	3	14日以内	下請業者名簿共
○	8 退職金共済制度（建退共）	3	14日以内	
○	9 工事材料搬入・検査報告書（材料確認書）	3	事由発生後14日以内	納入実績量共
○	10 総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5日以内	A 3 版程度の図面添付
○	11 提出書類綴込み用空ファイル	3	5日以内	10cm用程度
○	12 建設リサイクル法届	3	契約時	
○	13 消防設備設置計画書	3	工事着手前	
○	14 給水装置工事申込書及び完了届、完了検査	3	工事着手前	
	15 排水設備等計画確認申請書（給水設備共）	3	工事着手前	完了届共
○	16 社会保険等	3	各工事着手前	
○	17 再生資源利用計画書	3	工事着手前	
○	18 大気汚染防止法説明書及び調査	3	着工迄に	大気汚染防止法第18条の15第1項、3項
○	19 工事用保険証の写し（火災保険共）	3	着工前	工期の20日延長
○	20 施工図・製作図・承認図	3	各工事着手前	
○	21 施工計画書	3	各工事着手前	
○	22 材料承認願い等	3	各工事着手前	
○	23 主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	省略不可
	24 コンクリート配合表	3	工事着手前	
	25 コンクリート圧縮試験結果表	3	7日以内	4 週（公共機関試験）
○	26 休祭日作業届	3	工事着手前	
○	27 期間別工事工程報告書（現況写真添付のこと）	3	毎月2回	工程が確認できるように撮影
	28 工事履行報告書	3	毎月7日までに	工事状況が確認できる写真添付
○	29 工事打合簿、工事指示書、工程会議資料等	3	随 時	
○	30 質疑回答書	3	必要に応じて	
○	31 産廃契約書及びmanifesto写し	3	受領後速やかに	写真添付
	32 アスファルト調合表、試験表	3	随 時	
	33 工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	写真添付のこと
	34 鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	ミルシート等
○	35 各種試験成績書（アンカー引抜）	3	随 時	
○	36 機能及び性能試験成績書	3	随 時	
	37 出来高請求書	3	随 時	写真添付
○	38 再資源化等報告書	3	完了後速やかに	
○	39 材料出荷証明書	3	完了時	
	40 塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	空缶等確認出来る写真共
○	41 電気絶縁抵抗試験表	3	完了時	
	42 テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時	
	43 接地抵抗試験表	3	完了時	
○	44 水圧試験報告書	3	完了時	
○	45 <del>ガス気密試験報告書</del> 各種試験報告書	3	完了時	
△	46 電気メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
△	47 水道メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	48 安全実施報告書（KY、バトロール、安全日誌等）	3	完了時	
○	49 下請負業者一覧表（メンテナンス用）	3	完了時	住所、電話他記載
○	50 社内検査表（チェックリスト添付）	3	完了時	
○	51 各工事保証書（ <del>防水</del> 各機器等）	3	完了時	
	52 鍵番号表及鍵引渡書	3	完了時	
○	53 竣工図（文字入り製本・A 3 版二つ折）CD共	3	完了時	原因を訂正のこと
○	54 工事写真	3	完了時	CDデータ
○	55 完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	CDデータ
○	56 完成通知届	3	完了14日前迄に	
○	57 引渡書	3	検査通知後14日以内	
○	58 上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時	

断水可能日について

学校施設の為、断水可能日は下記の通りです。  
工程表の作成に当たっては、高架水槽、その他配管材等の納期についてメーカーや代理店等と協議の上、工事に支障の無いようにご配慮下さい。  
施工日の限られた中での工事となりますがご協力下さい。  
尚、断水可能日も管理の先生又は職員はおりますので仮設の便所（2ヶ所）及び簡易手洗台（ステンレス製）を設置して下さい。（設計図参照）  
断水可能日：土曜日・日曜日・祭日・夏休み・冬休み・春休み

MEMO（縮小率：A2=100%,A3=70%）



有限会社 永井 一 級 建 築 士 事 務 所

広島県三次市甲奴町本郷850-8 TEL0847-67-2472

広島県知事登録（24(1)第3940号） FAX0847-67-3808

図面名

工事概要・付近見取図

工事名

吉舎中学校給水タンク改修工事 設計図

縮尺

—

製作日

1級建築士  
第111572号

永井 秀 昭

No. A - 1

I 工事概要

1 工事名称

吉倉中学校タンク改修工事

2 建築場所

三次市吉倉町吉倉7830番地1

3 主要用途

・中学校

4 工事種別

・改修（受水槽）

5 構造階数

・RC造3階建

6 工事種目

1、建築工事一式  
2、電気設備工事一式  
3、機械設備工事一式  
4、上記に伴う工事一式

II 建築工事仕様

1、共通仕様

(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（最新版）」（以下、「様式」という。）

2、特記仕様

(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。  
(3)特記事項に記載の( )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
(4)特記事項に記載の(別 )は(5.3.7.)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。  
(5)製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( )内は製品名を示す。  
(6)☒印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。  
(7)瑕疵担保調査-建設工事請負契約款に定める期間内

章

項 目

特 記 事 項

1一般共通事項

①適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修平成22年版）  
○建築鉄骨設計基準・同解説（建設大臣官房官庁営繕部監修平成10年版）  
○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

②工事実施情報の登録

※適用する（1.1.4）

③品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。（1.2.2）  
※風速（V=30）  
※地表面粗糙度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）  
○積雪区画 区分告示第1455号40cm

④電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、（1.3.3）電気工作物の保安の業務を行うものとする。  
・要 ○不要

5条件明示項目

（1.3.5）

⑥発生材の処理等

・引渡しを要するもの（ ）（1.3.8）  
・特別管理産業廃棄物（ ）  
・現場再利用を図るもの（ ）  
○再生資源化を図るもの（ ）  
（○建設発生土 ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 ○鉄くず）  
上記以外 1.1.13(b)(5)、及び監督職員との協議による。  
(1)建設工事（解体撤去工事も含む）から発生する建設廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、建設副産物適正処理推進条例に基づき適正に処理すること。  
また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート及び木材）が廃棄物になったもの）については建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃掃法」)を遵守し、適正に処理すること。  
(2)元請け業者は、請け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に譲け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること。  
(3)建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理施工計画書」、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」のとおり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地に於いて現地による確認、立入検査を行うこと。  
(4)提出書類  
①元請け業者は、工事着手前に、次の書類を監督員に提出すること。  
○建設廃棄物処理施工計画書  
以下の書類を添付すること。  
ア 廃棄物処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）の許可の写し  
イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したもので  
ウ 処分場の現地確認写真  
エ 建設工事の元請け業者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）との  
2者の業務委託契約書の写し  
○再生資源利用計画書 ○再生資源利用促進計画書

7建築材料等

⑧化学物質を放散する建築材料等

9特別な材料の工法

10技能士

11化学物質の濃度測定

⑨完成写真

⑩設備工事との取合い

⑪設計GL

⑫工事写真

⑬保証書

2仮設工事

3土工事

4地業工事

5鉄防工事

※作成する ・作成しない  
※完成図（CADデータ共）提出部数 ※各3部 ・部  
設計理由を訂正の上、提出する。  
※A2版2ツ折張り合せ製本  
※A3版2ツ折張り合せ製本  
  
※施工図 提出部数 ※3部 ・部  
※A3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部  
  
※施工計画書 提出部数 ※3部 ・部  
※保全に関する資料 提出部数 ※3部 ・部  
  
下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。  
分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原稿の大きさ（mm）  
○カラー ※キャビネット ※べた焼 ※他に外観正面十カットのみのみ枚（カラーキャビネット）提出  
※カラー半切木製パネル 外部（3）内部（ ） ※2 324×400（mm）  
○電子データ 外部（4）内部（各室1枚） ※3 ※1000万画素以上 ※300dpi以上  
100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。  
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。  
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）  
  
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。  
  
※図示 ○設計GL＝現状GL（既設建物に準ずる）  
  
○「営繕工事物件品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。  
  
一登帳工事一金機検査書一完請け業者一登帳施工業者の連名一〇保証期間：2年一〇メカ保証共  
  
規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設けない（2.3.1）  
  
構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償）（2.3.1）  
  
構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償）（2.3.1）  
  
1 埋戻し及び盛土 種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 （3.2.3）（表3.2.1）  
・建設汚泥から再生した処理土 ☒  
  
2 建設発生土の処理 ・現場説明書による ・構外搬出適切な処理（3.2.5）  
・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し  
・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）（保育所側）  
  
1 既製コンクリート杭地業 ※高強度プレストレストコンクリート杭（4.3.1～2）  
・図示  
試験杭 杭径（mm） 杭長（m）及び種別 継手数 セット数 備考  
本 杭  
杭頭の処理 ※切断しない（4.3.7）  
先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形（4.3.2）  
杭の継手 建築基準法に基づき指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）  
施工法（4.3.3～5）  
・特定埋込み杭工法  
工法 ・ブレイリング拡大掘削工法 ・中掘拡大掘削工法  
H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=25.0程度を採用できる工法  
杭固定定液 ・使用する  
  
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による  
コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）  
( )種かつ(21)N/mm<sup>2</sup>以上  
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による（4.5.3）  
鋼加工法 ・アースドрил工法（安定液使用 ・無水堀削）（4.5.4）  
・リバース工法  
・オールケーシング工法（孔内の水深 ・行う ・行わない）  
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法（4.5.5）  
・底杭施工法（※安定液使用 ・ ）  
・深礎  
側壁測定 ・行う（ ） ・行わない（4.5.4）  
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による  
・別図参照  
  
※再生クラッシュラン ☒ ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示（4.6.3）  
  
4 床下防護層  
  
施工箇所 ・建物内土間コンクリート下（全面）  
・1階の室内となる部分のコンクリート下（バルコニー、開放廊下、屋外階段、1階ポーチ下を除く）  
  
種類の記号 呼び名（mm）（5.2.1）（表5.2.1）  
・SD295A ※D16以下  
・SD345 ※D19～D25  
・SD390 ※D29以上  
・溶接金網  
  
呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手（5.3.4）  
  
3 鉄筋の最小かぶり厚さ 最小かぶり厚さは目地地から算定する。（5.3.5）  
・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。  
施工箇所 横仕様5.3.6の値に加える寸法（mm）  
・構造参照 ・基礎 ※10 ・20  
  
・別図参照

4既製コンクリート杭の根頭補強

5最上階柱頭補強

6帯筋

7床開口部の補強

8梁貫通孔の補強形式（基礎伏）

9機械吊上げフック

10圧接完了後の試験

11その他


6コンクリート工事構造設計標準仕様による（）

7鉄骨工事構造設計標準仕様による（）

・A形 ・B形 ※図示（5.3.1）（別1.1）  
  
※行う ・行わない（別2.1）  
  
※H形 ・図示（構造図）（別2.2）  
  
※A形 ・B形 ・図示（構造図）（別4.2）（別表4.3～4）  
  
※H形 ・MH形 ・M形 ・評定品 ・図示（構造図）（別7.1）（別表7.1～3）  
  
・A種 ・B種 ・C種 （ヶ所）（別7.3）  
  
※超音波探傷試験 ・引張試験（5.4.9）  
・構造仕様書を優先とする（6.1.4）  
  
①普通コンクリートの設計基準強度  
設計基準強度F<sub>c</sub>（N/mm<sup>2</sup>） 施工箇所  
・21+温度補正 建物基礎、立上り、土間  
○18 雑、デブリ等  
・24 上部躯体  
  
※ 構造図を参照  
・発注強度は上記設計基準強度+S（構造体強度補正值）とする。  
  
※I類 ・II類（6.1.5）（6.4.1～2）（表6.1.1）  
  
③スランプ 工作物のスランプ 15又は18cm（建物躯体はS-01図参照）（6.2.3）  
  
④セメントの種類（6.3.2）（6.13.2）（6.16.2）（表6.3.1）  
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種（但し、シリカセメントを除く）  
・高炉セメントB種 ☒（ ）  
  
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。  
水和熱 Td 352 J/g以下  
Td 402 J/g以下  
  
⑤骨材の種類 アルカリシリカ反応による区分（6.3.3）（6.5.4）  
※A  
・B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下）  
  
⑥混和材料 ※混和剤 ・混和材（6.3.5）（6.4.8）  
  
⑦無筋コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup>（6.14.3）  
  
8 コンクリート躯体表面の処理 外装タイル張り面の躯体表面の処理  
MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がりが凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm<sup>2</sup>以上かつ、2.5分/m<sup>2</sup>以上とし、施工計画書を監督に提出し承認を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承認を受ける。  
・コンクリートの増打寸厚さ ※20mm  
※施工範囲は図示による。  
  
9 断熱材兼用型枠 適用及び適用箇所について  
横仕19車内装工事14断熱材による。  
塗装の有無 ・無し ・有り  
普通

1. 工事名称		吉倉中学校給水タンク改修工事		6. 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分		6. 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分		9. 凡 例							
2. 工事場所		三次市吉倉町吉倉783番地1		○ 幹線設備		施工範囲		設備				記 号		名 称		適 用		標準取付高さ	
3. 建物概要		○ RC ・ SRC ・ S				まで。 盤類 ( ・ 含む ・ 含まず )						○		照明器具		○ コード吊 ○ 壁付 ● 非常照明			
		地下 階／地上 3 階／塔屋 階／ 延面積 2,719.84 m <sup>2</sup>				電 圧		動力 ・ 3 φ 3W200V ( ・ AC ・ GAC )				□		照明器具		□ 壁付 □ 非常照明組込			
4. 主な用途		○ 中学校						動力 ・ 3 φ 3W200V ( ・ AC ・ GAC )											
5. 一般事項								電灯 ・ 1 φ 3V200／100 ( ・ AC ・ GAC )						⊕		誘 導 灯		Ⓜ 通路誘導灯は矢印を記入	
1) 適用基準等		本工事は設計図・特記仕様書によると共に、電気設備の技術基準、内線規程、消防法、建築基準法及び、その他関係法令・規則・条例に基づき、完全に施工するものとする。				西配線種別		電灯 ・ 1 φ 2W V ( ・ AC ・ GAC )		設備				Ⓜ		屋 外 灯			
								直流 ・ 2W V ・											
2) 疑 義		施工にあたり、疑義が生じた場合は、係員と協議すること。						一般電灯動力 ( ・ 電線管 ・ ケーブル ・ バスダクト )						Ⓜ		コンセント		壁付 ( 2 P 15 A × 2 ) は口数傍記 FL + 300	
3) 官公庁その他の手続		本工事に必要な官公庁への手続きは、請負業者にて代行し、これに要する費用は、請負業者の負担とする。						非常電灯動力 ( ・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル )										傍記 T は引掛型、E は接地端子付、WP は和室 + 200	
								直 流 ( ・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル )										防滴型、H は医用接地型を示す。	
4) 工法の決定		施工者は、係員の承認なく、施工方法、使用材料及び使用機器を変更してはならない。 変更を行う場合は、速やかに変更図面を提出し、係員の承認を得た後に施工すること。		○ 動力設備		施工範囲		制御盤を ( ・ 含む ・ 含まず ) 二次側端子接続より、		受信機設置場所		P 型 級 ( 自火報 回線／防排煙 回線 )		E□		医用接地		接地センター ⊕ 接地端子	
								各動力負荷一次側接続まで。						・		スイッチ		・ 片切 ・ 2 面切 ・ 3 路 ・ 4 路 FL + 1300	
5) 提出書類		下記の ○ 印の書類を係員に提出すること。						インターロック配線 ( ・ 含む ・ 含まず )		○ 防排煙制御設備		制 御 盤		・ 単独 ( 回線 ) ・ 火災報知受信機組込		・ L		パイロットスイッチ	
		工事書類 ○ 工程表 ○ メーカリスト ○ 承認図 ○ 施工図						自動制御配線 ( ・ 含む ・ 含まず )				制御対象		・ 防火戸 ・ ダンパー ・ 防煙垂壁 ・ 排煙口		・ R		リモコンスイッチ	
		完成書類 ○ 官公庁等への諸手続きの写し ○ 検査試験成績表						警 報 盤 ( ・ 含む ・ 含まず )						・ 排煙口 ・ シャッター		⊕		リモコンセレクトタイ	
		○ 取扱説明書 ○ 工事記録写真 ○ 竣工図						警 報 配 線 ( ・ 含む ・ 含まず )								・ A		調 光 器	
6) 検 査		工事完成後、三次市、その他官公庁の各種検査に合格すると共に、監督員の検査に合格すること。						空調機器入替に伴う電源線の撤去・再接続対応とする。		○ 避雷設備		方 式		・ 突 針 ・ 棟上導体 ・				容量係記、FL は蛍光灯用	
7) 特記事項		1) 工事項目は、番号の入っている設備項目を適用する。		● 電灯コンセント設備		施工範囲		分電盤を ( ・ 含む ・ 含まず ) 二次側端子接続より、		仕様詳細		・ 別図仕様書に依る				⊕		制御用スイッチ	
		2) 仕様、工事内容及び工事区分は、○ 印を付したものを適用する。						配線器具等の取付まで。 ○ 図示										○ LF フロートレススイッチ (極数は傍記)	
		3) 機器の取付高さは、特に指示のない場合、標準取付高さによること。				配線器具		・ 大角運用型 ○ 図示								⊗		換 気 扇	
		4) ( 室名 ) で表示した部屋はスラブ天井を示し、その他は 2 重天井を示す。								7. 工事区分 ( 該当欄に 印で記します。 )						S		開 閉 器	
		5) 特記なき配管種別は P F 管とする。														Ⓜ		電灯分電盤	
		6) 配線器具プレート ( ・ 樹脂 ○ 新金属 ○ ステンレス ・ )		○ 照明器具設備		施工範囲		照明器具の供給取付工事		項 目		電気		建築		機械		別途	
		7) 屋外防水ブルボックスは ( ○ ステンレス ・ 亜鉛メッキ ) 製とする。				器具仕様		・ 別図姿図に依る		電力会社・N T Tに納入する負担金								備 考	
		8) 国土交通省大臣官房営繕部監修電気設備共通仕様書 ( 最新版 )						・ 空調機器取付に支障となる場合は、一時取り外し再取付とする		テレビ受信のビル影障害調査及び補償費								建築主負担	
										受電後、引渡し迄の電気基本料金及び使用料金				○				〃	
										コンクリート基礎 ( ・ キュービクル ・ 発電機								基礎が必要な場合	
										・ 変圧器 ・ 盤類 ・ 外灯 ・ その他 )									
6. 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分								シンダーコンクリート打設工事									
○ 引込設備		電圧種別		・ 高圧 3 φ 3W 6,000V ( ・ 50・60 ) Hz						ビット工事 ( 緑金物、蓋共 )									
				・ 低圧 3 φ 3W 200V ( ・ 50・60 ) Hz		○ 電話配管設備		引込方法		架空 ・ 地中 ・ 構内地中									
				・ 低圧 1 φ 3W 200／100V ( ・ 50・60 ) Hz		( 情報配管含 )		建物内配管		・ 配管 ・ ケーブルラック ・ フロアダクト								必要な場合	
		引込方式		・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中				構内配線		・ 含む ・ 含まず								天井に取付ける機器の穴明けと補強工事及び取付枠	
																		天井が、ド 開口電気工事	
										電気配線用点検口の設置工事								天井が出し電気工事	
										電話器とその取付工事及び入線工事									
										空調機・ボイラ等の制御機器及び自動制御配線								Ⓜ	
○ 受変電設備		形 式		・ キュービクル式 ( ・ PF-S ・ CB ) ・ その他		○ 電話設備		交 換 機		・ 含む ・ 含まず								スピーカ	
		施設場所		・ 屋内 ( 階 )				構内配線		・ 含む ・ 含まず								天井埋込型 ・ 壁掛型 ・ ホーン型	
				・ 屋外 ( ・ 地上 ・ 屋上 )				仕様詳細		・ 別図仕様書に依る								〇	
						○ 放送設備		用 途		・ 非常用 ・ 一般用 ・ 兼 用									
								増幅器設置場所											
○ 発電機設備		用 途		・ 常用 ・ 非常用 ・ 兼用 ・ コージェネ				仕様詳細		・ 別図姿図に依る									
				・ パッケージ型 ・ 据置型 ・ 屋内型 ・ 屋外型															
		施設場所		・ 屋内 ( 階 )															
				・ 屋外 ( ・ 地上 ・ 屋上 )		○ テレビ共聴設備		アンテナ		・ 有 ・ 無									
		仕様詳細		・ 別図仕様書に依る						・ VHF ・ UHF ・ BS ・ CS ・ AM		8. メーカーリスト ( その他下記以外で、係員が同等品以上と認めたもの )				Ⓜ S		スピーカ子機	
												電線ケーブル		JIS規格品		発 電 機		東芝・日立・松下・三菱・	
												バスダクト				エンジン		いすず・川崎・三菱・ヤンマー・	
												銅製電線管		摂陽・東芝・日本パイプ・松下・		直流電源装置		日本電池・古河・松下・湯浅・	
												電線管付属品		摂陽・外山・東芝・日亜・松下・					
												合成樹脂電線管		古河・積水・東拓・松下・ミライ・		電話交換機		NEC・日立・富士通・松下・	
												配線器具		神保・東芝・松下・明工社・		放送機器		トーア・東芝・ビクター・松下・	
												照明器具		日立・東芝・松下・三菱・		テレビ共聴		DX・マスプロ・八木・	
												キュービクル		中電工・内外・日東・		電気時計		セイコー・TIC・松下・	
												高低圧配電盤		中電工・内外・日東・		インターホン		アイホン・ケアコム・東芝・松下・	
												制御盤監視盤		中電工・内外・日東・		ナースコール		アイホン・ケアコム・東芝・松下・	
												分電盤端子盤		中電工・内外・日東・		自火報防排煙		ニッタン・ノーミ・ホーチキ・松下・	
																避 雷 針		大阪・日本・	
○ 監視盤設備		形 式		・ 自立型 ・ デスク型								高圧機器		EJ ｼﾞｬﾝｸﾞﾙ・戸上・東芝・日立・三菱・					
		監視対象		・ 受変電 ・ 衛生動力 ・ 空調動力								変 圧 器		ダイヘン・中機・東芝・日立・松下・三菱・					
				・ 温湿度 ・ 発電機 ・		● 給水タンク用設備		施工範囲等		○ 図 示 に よ る		進 相 器		東芝・ニコチン・日立・松下・三菱・					
		計装配線		・ 含 む ・ 含まず															
														</					

【特記事項】防火区画貫通部の配管は、建築基準施工令第129条2の5及び国土交通省告示第1422号に基づき施工する。

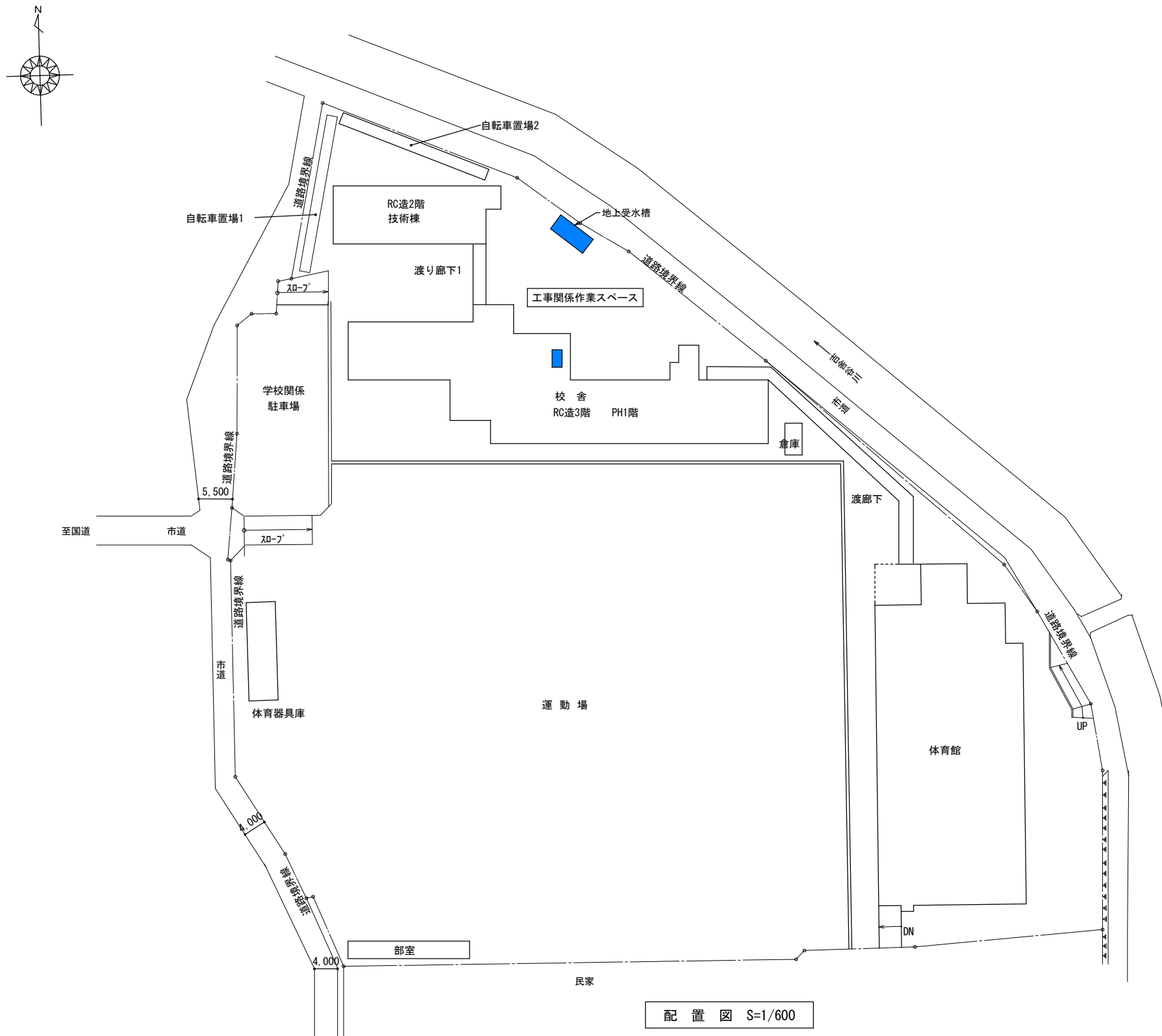
MEMO	(縮小率 : A2=100%,A3=70%)		 有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472 広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) FAX0847-67-3808	図面名 電気設備特記仕様書		工事名 吉舎中学校給水タンク改修工事 設計図					
				縮尺	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				No. A - 3




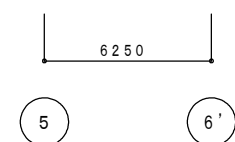
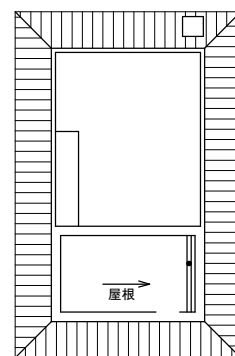
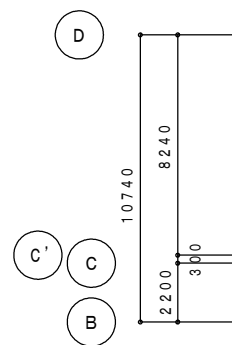
特記仕様書

建築物概要				工事概要				配管材料および保温材																
工事名称		吉舎中学校給水タンク改修工事		給排水衛生設備工事				空気調和設備工事				名称		材		保温材		区分						
工事場所		三次市吉舎町吉舎783番地1		給水設備工事				設計条件			夏季		冬季		給水管			GW保温材		屋内				
工事種別		・新築・増築○改修		給水源							乾球温度		相対湿度			乾球温度		相対湿度		GW保温材		屋外		
主体構造		○RC・S○耐火構造・簡易耐火構造		給水方式					外気		*℃		*%			*℃		*%		SUSラッキング		土中		
階数		地上3階地下階塔屋1階		引込管					室内		*℃		*%			*℃		*%				コンクリ		
面積		建物名称		延面積(㎡)		備考		追記事項				機器設備工事				排水管	硬質塩化ビニル管(VP)		GW保温材		屋内			
		中学校		2,719.84								冷凍機					ヒートポンブ		空冷		水冷		土中	
												ボイラー					ヒートポンブ		空冷		ガス		屋内	
																	燃料		灯油		A重油		土中	
								追記事項				空気機器				通気管	硬質塩化ビニル管(VP)		GW保温材		屋内			
						排水方式						ヒートポンブ		空冷			水冷		土中					
						放水管						床置		天井			カセット		給湯管					
						接続管						口径100mm		隠蔽			露出		壁掛		ガス管			
								追記事項				換気方式				消火管	冷却水管		GW保温材		屋外露出部分			
						衛生器具						第1種		第2種			第3種		膨張管					
						追記事項						天井カセット式		局所式			換気扇・天井扇・有圧ファン		冷媒管					
						給湯設備工事						追記事項							換気ダクト		スパイラルダクト(SP)			
								給湯方式				ダクト設備工事				油管	シンボル表							
								機器				・厨房排気ダクトの板厚					給水管		ゲート弁・止水栓					
								熱源				矩形ダクトの場合(入力合計が18000kcal/hを超える)(単位mm)					排水管		チャッキ弁					
								追記事項				ダクトの長辺					ステンレス鋼板		亜鉛鉄板		量水器			
								追記事項				450以下				0.5以上		0.6以上		ガスメーター				
								追記事項				450を超え1200以下				0.6以上		0.8以上		給湯栓				
								追記事項				1200を超え1800以下				0.8以上		1.0以上		給湯管				
								追記事項				1800を超えるもの				0.8以上		1.2以上		フラッシュ弁				
								追記事項				円形ダクトの場合(入力合計が18000kcal/hを超える)(単位mm)				円形ダクトの寸法		ステンレス鋼板		亜鉛鉄板		排水目皿		
								追記事項				300以下				0.5以上		0.6以上		排水格子樹				
								追記事項				300を超え750以下				0.5以上		0.6以上		汚水樹				
								追記事項				750を超え1000以下				0.6以上		0.8以上		トラップ樹				
								追記事項				1000を超え1250以下				0.8以上		1.0以上		ガスコック				
								追記事項				自動制御設備工事				特記事項								
								追記事項				制御方式				電気式		電子式		空気式		下記記載事項と各々の図面に記載で重複するものは各々適用するものとする		
								追記事項				追記事項				1・施工順序について								
								追記事項				追記事項				①本工事の施工にあたり、高架水槽の改修工事には断水が必要となるのでNO.A-1図に記載の期間に施工すること								
								追記事項				追記事項				尚、夏休み・冬休みに於いて継続しての断水は5～7日程度とする。								
								追記事項				追記事項				(特別な理由によりそれ以上を要する場合は別途協議とす								
								追記事項				追記事項				②上記工事等断水を要しない工事(仮設工事、本体設置等)は先行して行うこと。								
								追記事項				追記事項				③断水工事期間中は仮設トイレ、洗面台を設置し、それを使用して頂くものとする。								
								追記事項				追記事項				(設置及び撤去費用は本工事とし、汲み取り費用は実数量にて清算する。								
								追記事項				追記事項				④詳細工程については関係者協議の上、日程調整を行う。								
								追記事項				追記事項				⑤解体撤去等音のする工事は極力時間外に行うものとする。								
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項				追記事項												
								追記事項																

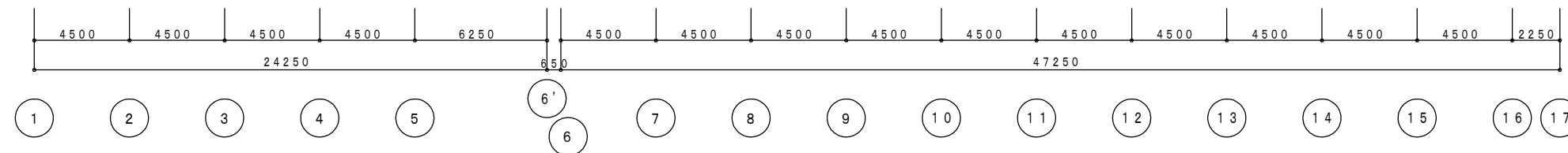
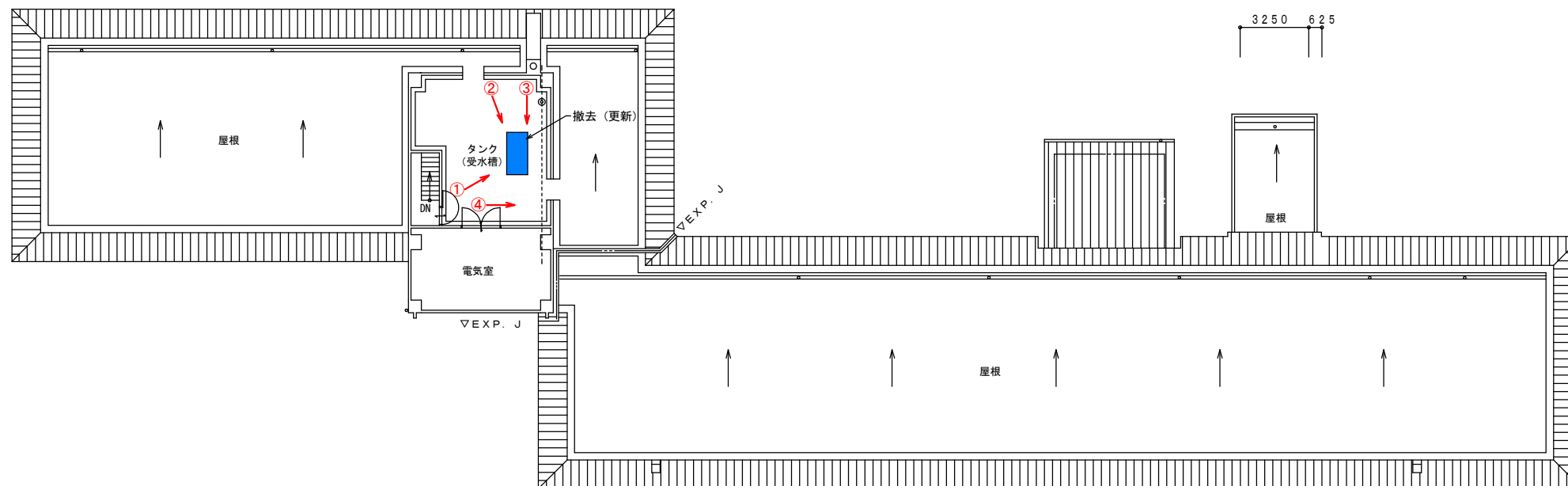
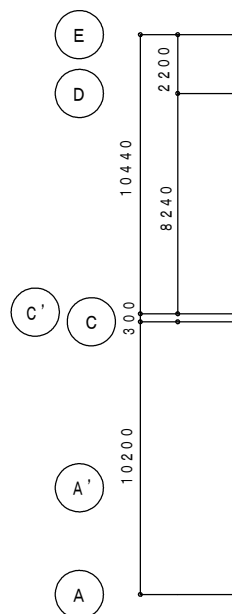
（特記事項）  
工事着手前に広島県水道広域連合事務所へ所定の手続きを行ってください。 また、工事完了時には検査を受けてください。



MEMO	(縮小率 : A2=100%,A3=70%)			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472 広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) FAX0847-67-3808	図面名 配置図		工事名 吉舎中学校給水タンク改修工事 設計図						
					縮尺 S=1/600	製作日	1級建築士 永井秀昭					No. A - 5	
							第111572号						

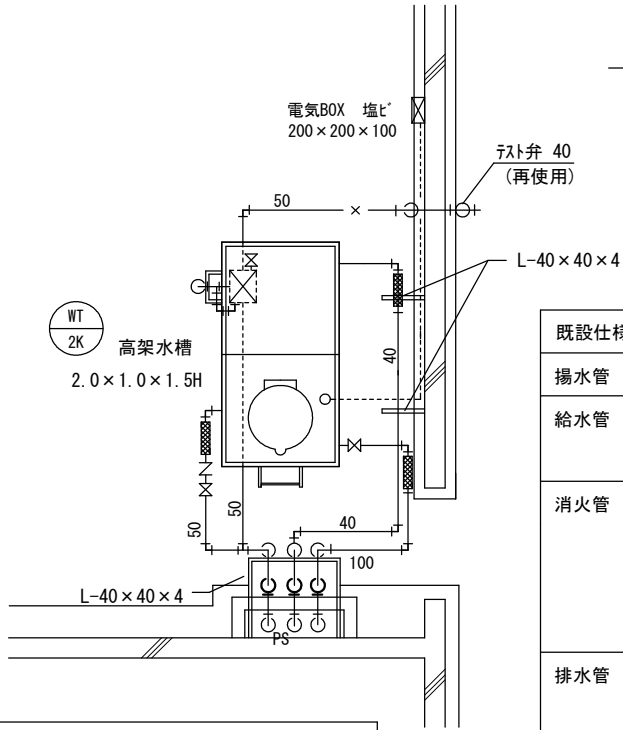
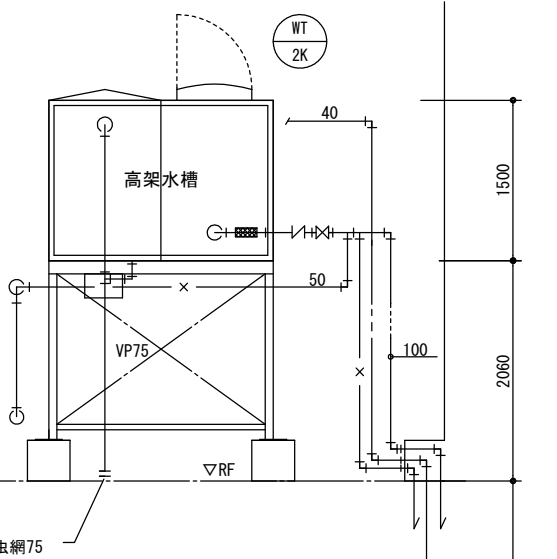


PH階平面図 S=1/200



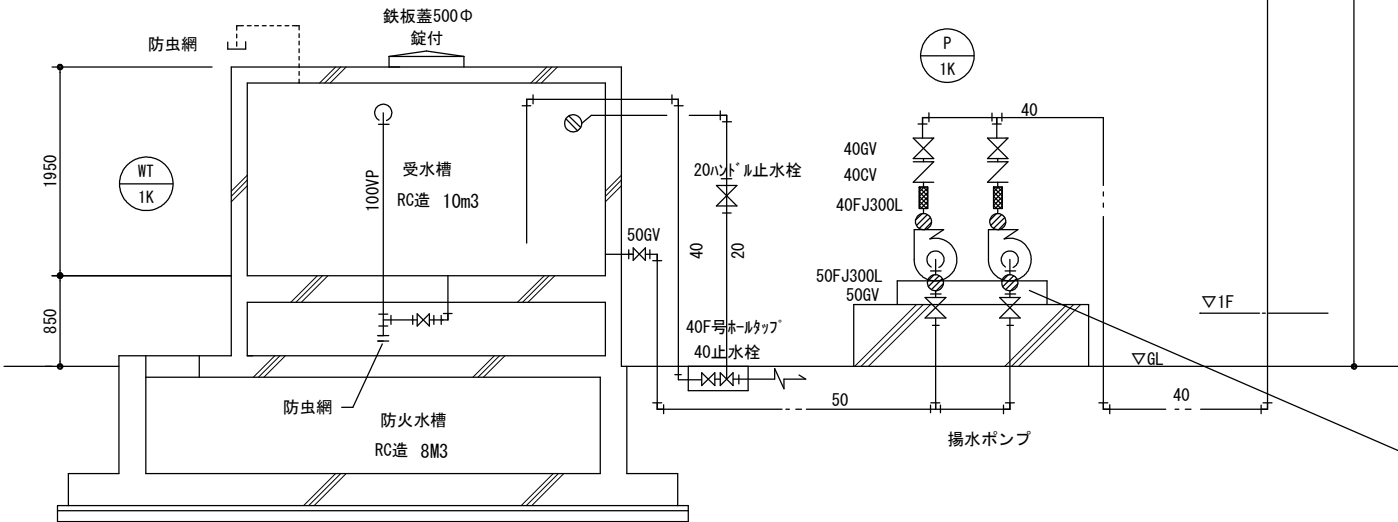
R階平面図 S=1/200

機器表		備 考
受水槽 (WT-1K)	コンクリート製 容量 8.0m3 2.0×2.0×2.0H	
	地上	
高架水槽 (WT-2K)	FRP製 ｾﾞﾙﾀﾝｸ複合板 容量 3.0m3 2.0×1.0×1.5H	解体・撤去
	鉄骨架台1680H コンクリート基礎H=380(再使用) 屋上	
揚水ポンプ (P-1K)	多段渦巻 40Φ×100 L/min ×25m × 1.5Kw 2台	再使用
	防振架台 圧力計GV CV コンクリート基礎	
	** 防振架台 本工事にて改修(2台共) (別図参照)	



高架水槽平面図 (改修前) S=1/50

既設仕様(撤去)	
揚水管	FJ40×500L
給水管	ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁(ｷﾞｱ式)100
	FJ100×500L
消火管	GV50
	CV50
	FJ50×500L
	ﾃﾞｽﾄ弁 40
排水管	GV40
	VP75
	防虫網75



受水槽・系統図 (改修前) S=1/50

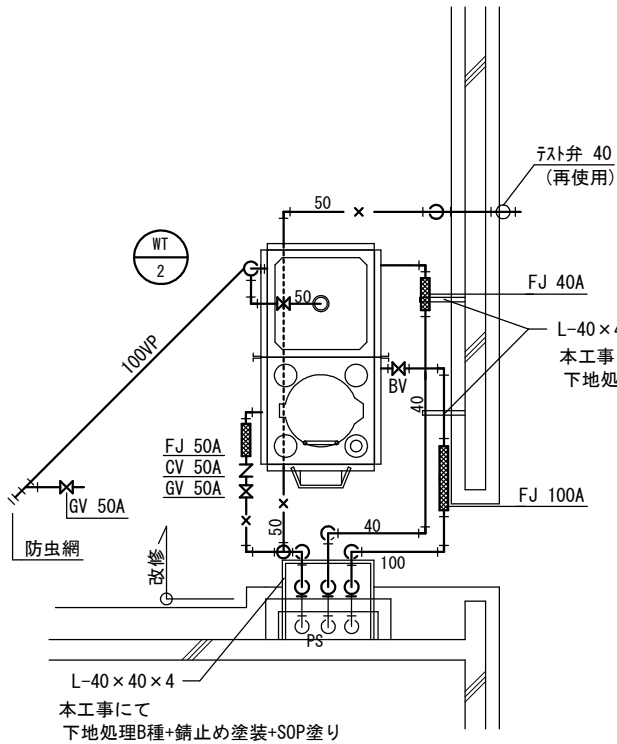
記号	名称	仕様	数量
WT-1	高 架 水 槽 (別図参照)	FRP製パネルタンク複合板 呼称容量：3.0M3 耐震強度：2.0G	1
		水槽寸法：2000×1000×1500H (内・外梯子付)	
		鉄骨架台：1680H (溶融亜鉛メッキ仕上)	
		コンクリート基礎 (既設再利用 防水改修 別図参照)	

※屋外の露出配管は凍結防止ヒーター巻きとする  
凍結防止ヒーター 自己温度制御型 SFH-8型 (1φ100V, L=8m)  
凍結防止ヒーター 自己温度制御型 SFH-10型 (1φ100V, L=10m)  
凍結防止ヒーター 自己温度制御型 SFH-15型 (1φ100V, L=15m)

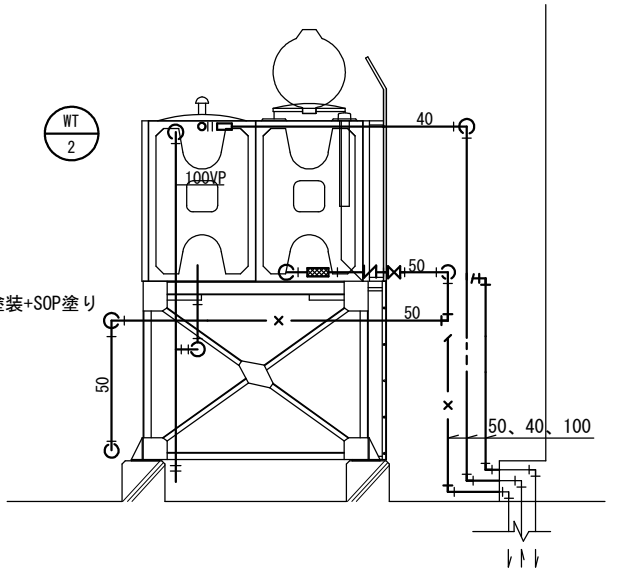
※ハト小屋(PS)外の露出配管は全て取替えるとする

配管部材				
種別	名称	記号	仕様	数量
揚水	フレキシブル継手	FJ	ステンレス製 J I S 10 K F-40 A × 400 L	1
給水	フレキシブル継手	FJ	ステンレス製 J I S 10 K F-100 A × 1000 L	1
	ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁	BV	ｷｬﾌﾞﾚｰﾄﾞﾃﾌﾛﾝｺｰﾃｨﾝｸﾞ 10K-100A	1
消火	フレキシブル継手	FJ	ステンレス製 J I S 10 K F-50 A × 500 L	1
	仕切弁	GV	J I S 10 K N-50A	1
	逆止弁	CV	ｽｲﾝｸﾞ式 J I S 10 K N-50A	1
	ﾃﾞｽﾄ弁		(既設再使用)	(1)
排水	仕切弁	GV	J I S 10 K N-50A	1
	防虫網		100A	1

※1階ポンプ室内の P-1K揚水ポンプ 防振架台取替え (2台共)



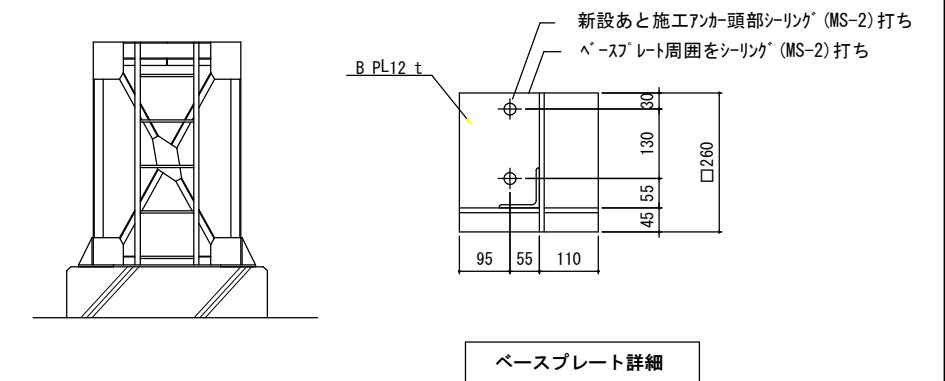
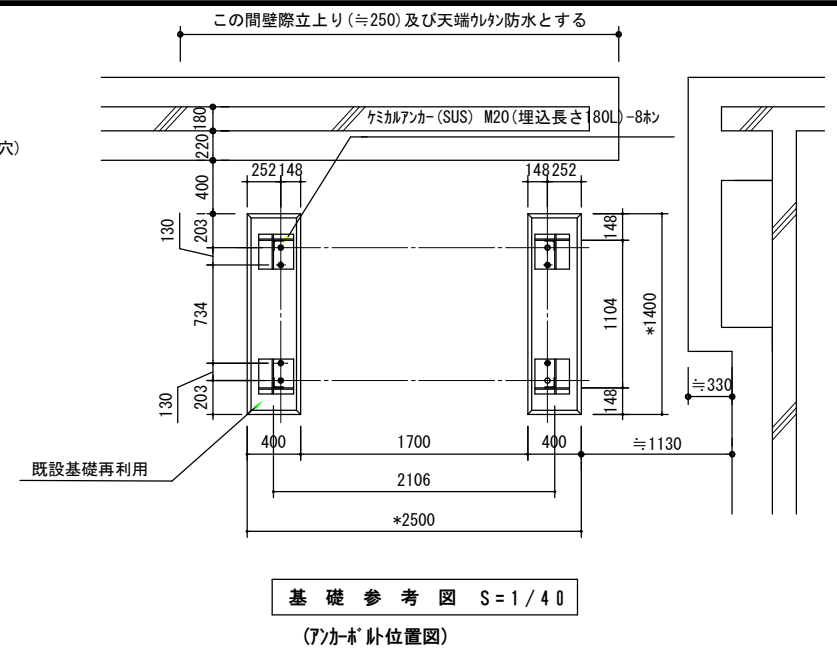
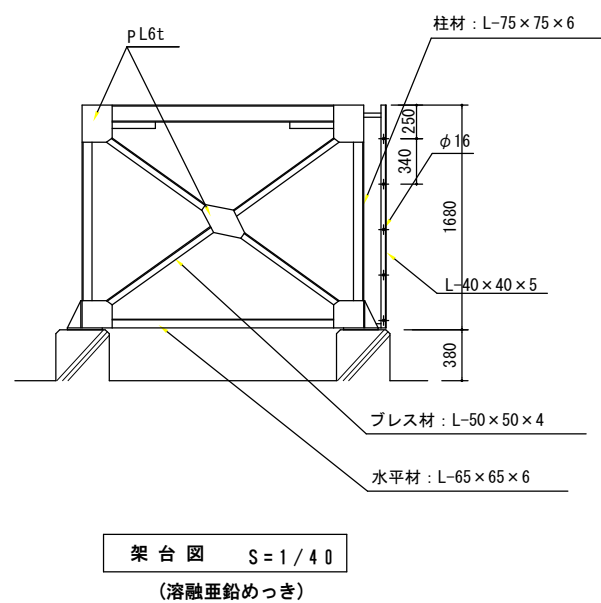
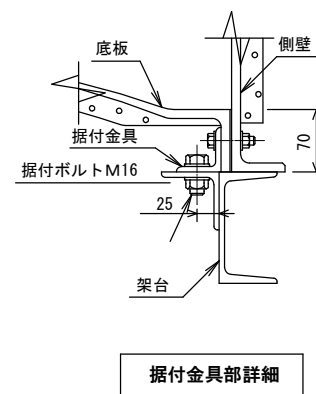
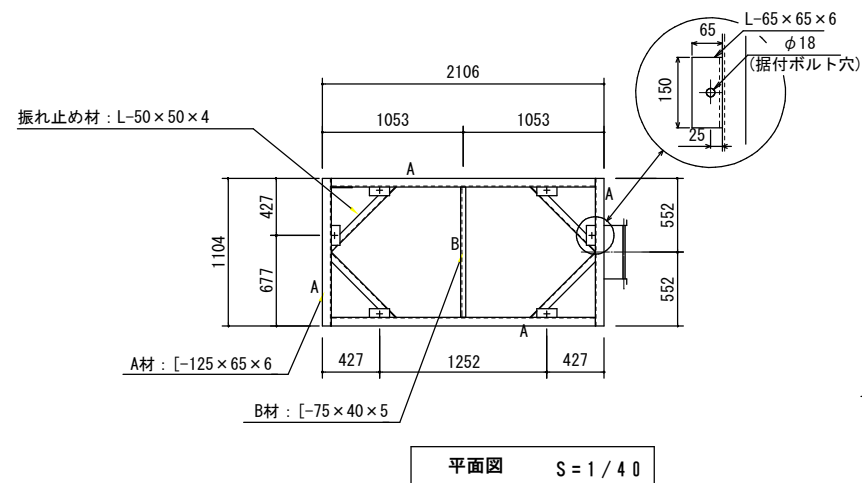
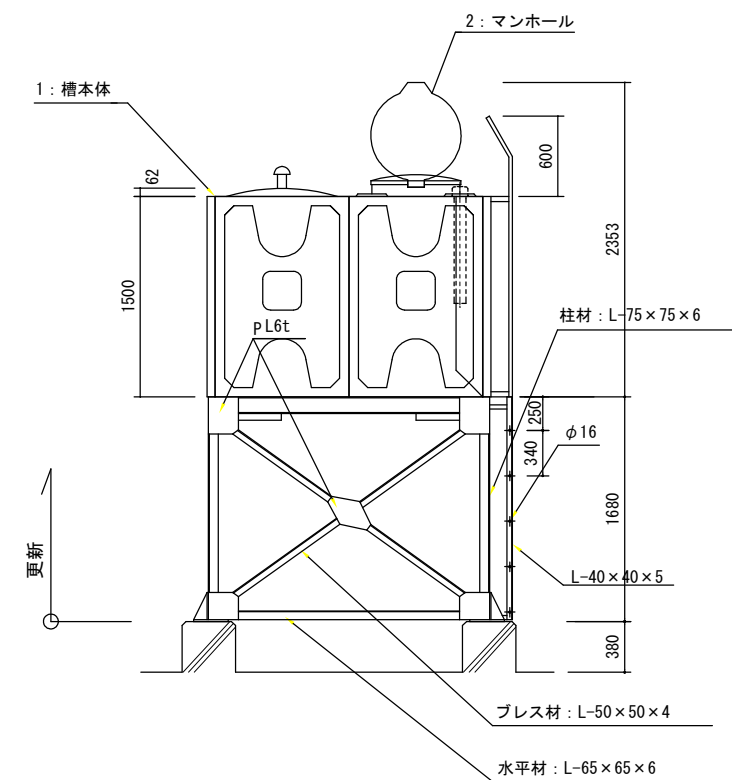
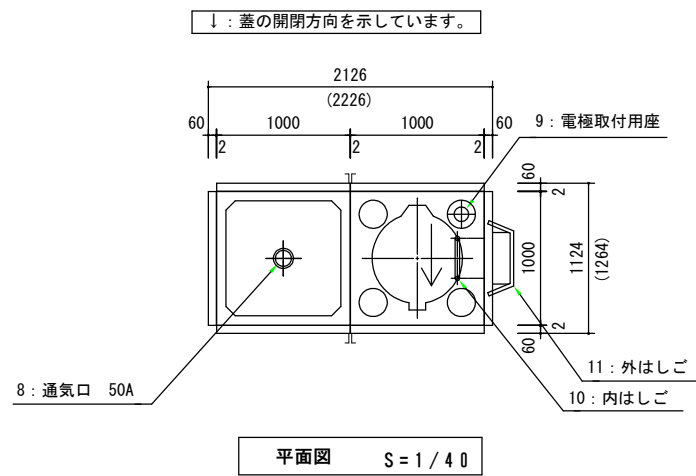
高架水槽平面図 (改修後) S=1/50



高架水槽断面図 (改修後) S=1/50





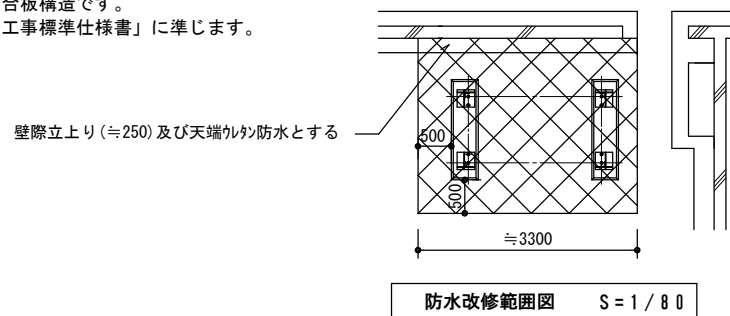
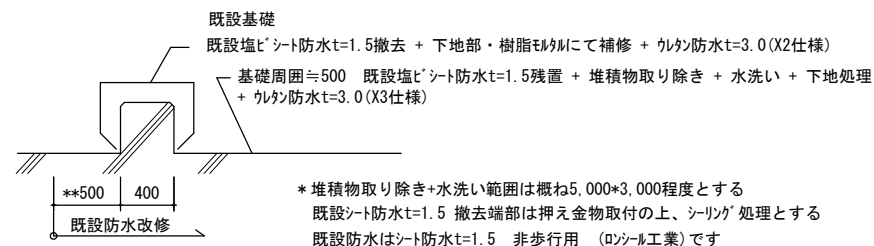


#### 特記事項


- 1・既設基礎再利用に伴い本工事において下記の改修を行う
- 2・防水改修を行う
- 3・既設高架水槽架台撤去部のボルト切断部は錆止め塗装の上シリング（MS-2）打ち処理を行う
- 4・新設あと施工アンカー頭部及びベースプレート周囲をシリング（MS-2）打ち処理を行う
- 5・新設あと施工アンカーの位置は既設基礎鉄筋と干渉しないよう事前の調査を行う事
- 6・新設あと施工アンカー打ち後、全数打音調査及び3ヶ所の非破壊引張試験を行う事  
強度試験表等を提出し固着度の確認張力は設計用引抜き体力の2/3までとし引き出さないものを合格判定とする
- 7・事前に架台強度計算書及び資材承認並びに施工図を提出し監督員の承諾を得た後施行する事

注記

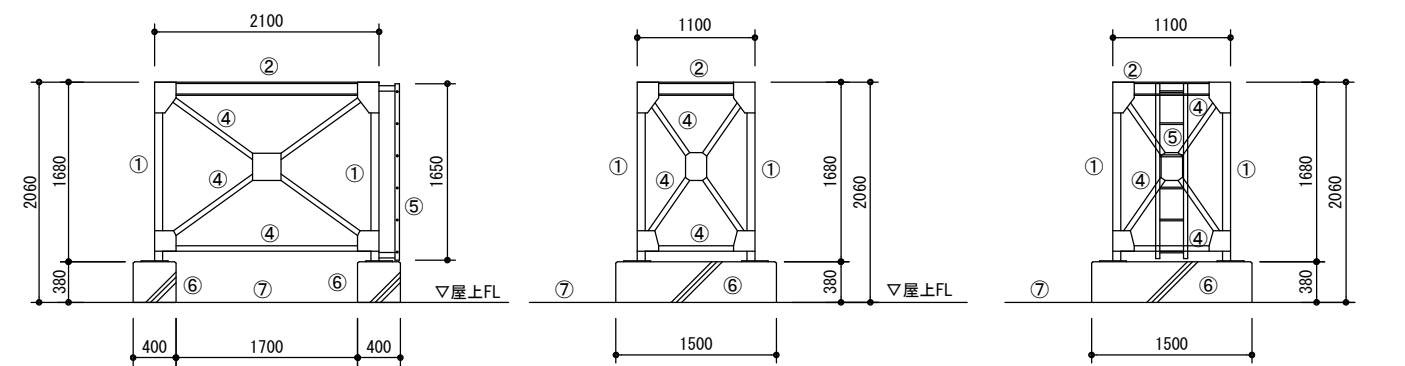
1. タンク外観色は、アイボリーです。(マンセル2.5Y9/2)
2. バネル締結用ボルトはSUS仕様です。  
(欠相部は樹脂ライニングボルト・ナット品。)
3. 水槽質量は、290kgです。
4. ( )内寸法はタンク最外寸法を示します。
5. 側壁、底板部の平均保温厚は25mmです。
6. 天井も、複合板構造です。
7. 「公共建築工事標準仕様書」に準じます。



11	外はしご	SS	1	巾385	溶融亜鉛めっき品
10	内はしご	PVC	1	巾300	
9	電極取付用座	ABS	1	PF2	加 <sup>レ</sup> -, 防波管付(透明管)
8	通気口	ABS	1	50A	防虫網付
7	排水口				
6	溢水口				
5	出水口				
4	入水口				
3	入水口				
2	マンホール	FRP	1	φ600	取外し兼用型 内ふた付
1	槽本体	FRP	1		
No	名 称	材質	数量	サイズ	
	ヒシタンク	GSJ 型	3.0	M <sup>3</sup>	(1.0×2.0×1.5H)
水平震度 : K H = 2.0		複合板構造			
三菱ケミカルインフラテック株式会社 同等品					

MEMO	(縮小率 : A2=100%,A3=70%)		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472 広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) FAX0847-67-3808	図面名                      タンク詳細図		工事名                      吉舎中学校給水タンク改修工事      設計図					
	縮尺                      S=1/40                      製作日			1級建築士 永井秀昭						No.    A    -    8	

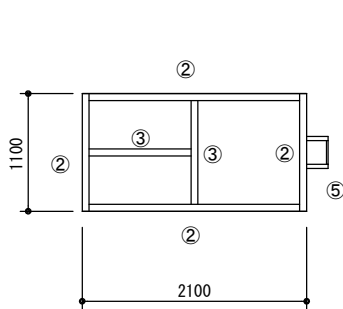
改修前



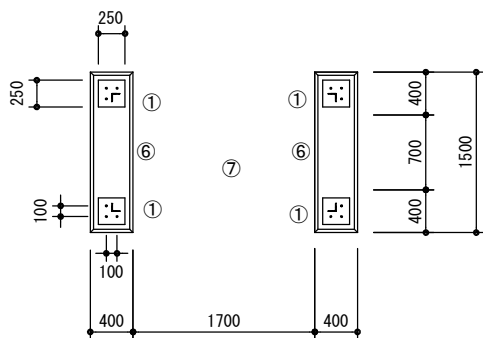
高架水槽軸組み図 (改修前) S=1/50

高架水槽軸組み図 (改修前) S=1/50

高架水槽軸組み図 (改修前) S=1/50



高架水槽床伏図 (改修前) S=1/50

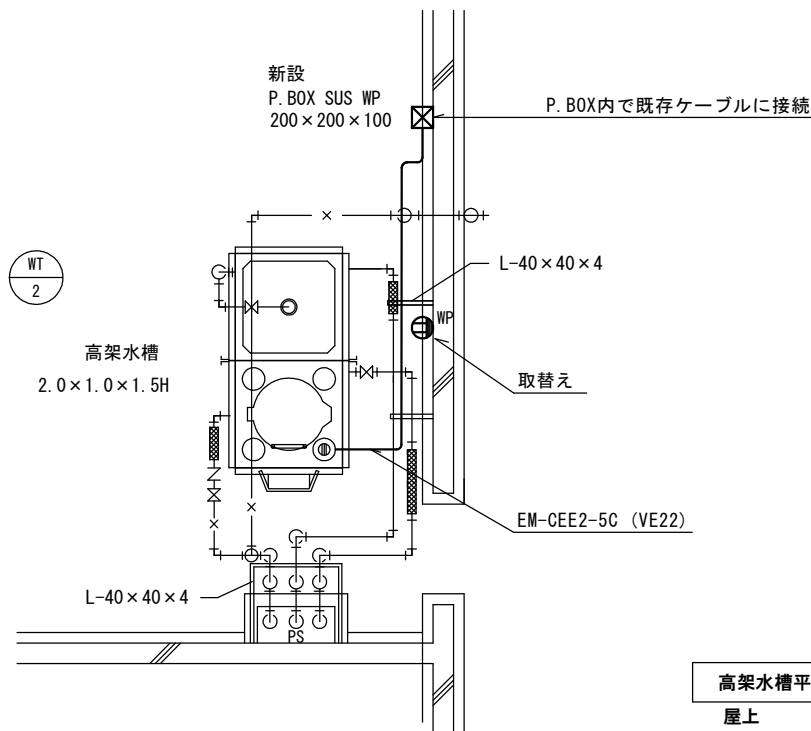


高架水槽床伏図 (改修前) S=1/50

リスト			
①	柱	L-75×75×6	BPL 250×250×9 3-16Φ
②	梁(土台)	溝形鋼 125×65×6	溶接止め
③	小梁	L-65×65×6	溶接止め
④	ﾌﾞﾚｰｽ	L-50×50×6	PL t=6 溶接止め
⑤	梯子	L-40×40×5	6-16Φ 溶接止め
⑥	基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ 1500×400×380	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 t=1.5 包み AB廻り・ｼｰﾘﾝｸﾞ 打ち
⑦	床仕上げ	塩ﾋﾞｼｰﾄ防水 t=1.5	

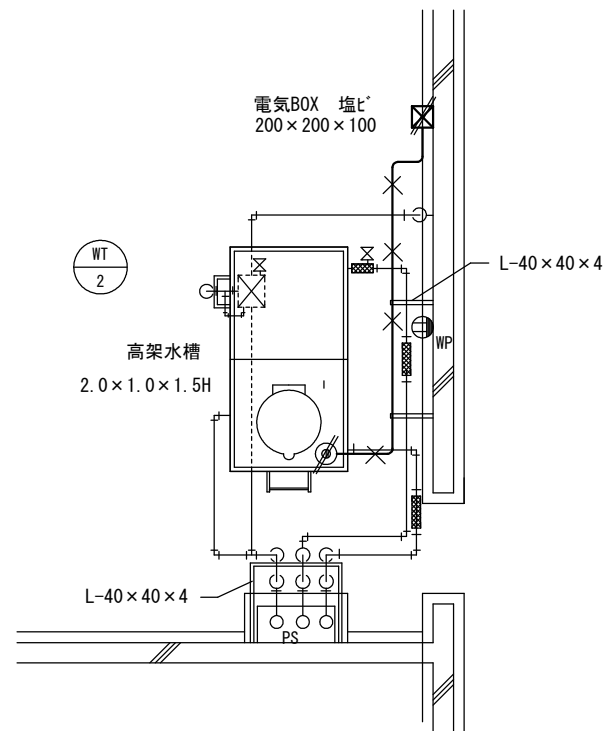
特記事項・本工事に於いてｺﾝｸﾘｰﾄ基礎残置の上、上部鉄骨架台及び高架ﾀﾝｸを解体撤去し新設とする。

改修後



高架水槽平面図 (改修後) S=1/50  
屋上

改修前



高架水槽平面図 (改修前) S=1/50  
屋上

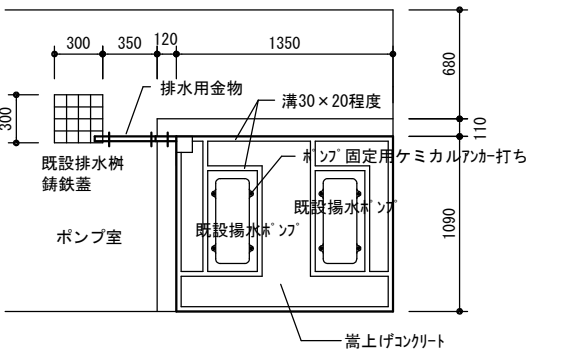
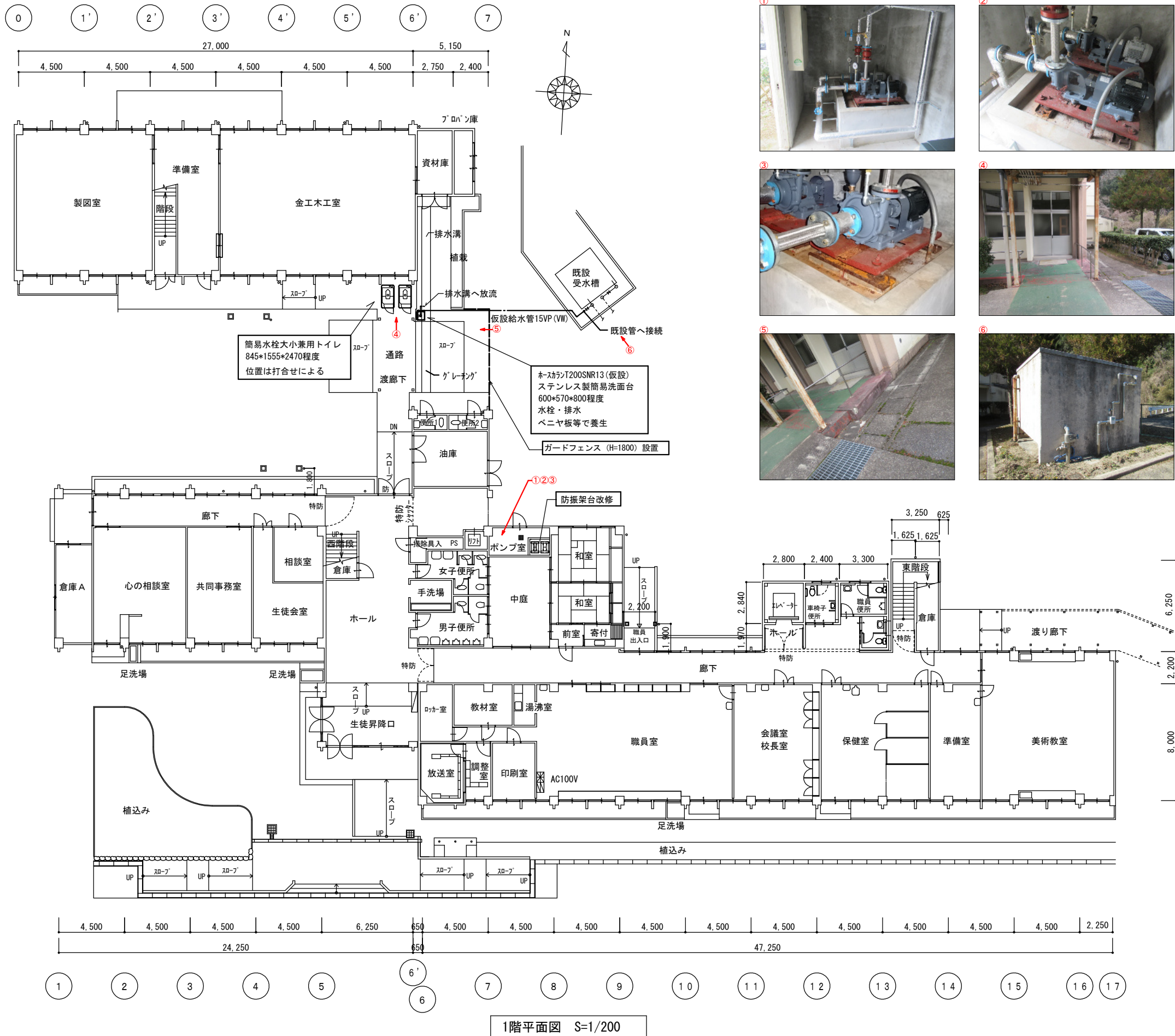
MEMO	(縮小率 : A2=100%,A3=70%)



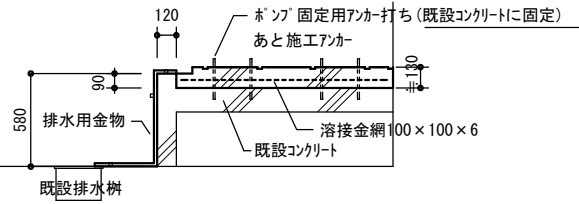
有限会社 永井一級建築士事務所  
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472  
広島県知事登録 ( 24 (I) 第3940号 ) FAX 0847-67-3808

図面名	高架水槽架台図 (既設・撤去図) 電気設備図
縮尺	S=1/50
製作日	

工事名	吉舎中学校給水タンク改修工事	設計図
1級建築士 第111572号	永井秀昭	No. A - 9

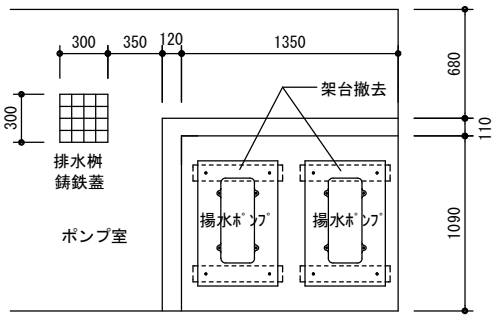


ポンプ廻り平面図(改修前) S=1/30

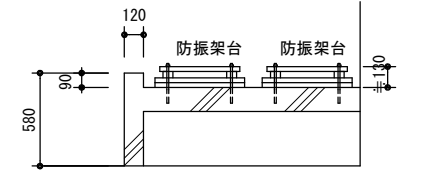


ポンプ廻り断面図(改修前) S=1/30

- 改修内容
- 1・揚水ポンプ 取外し+再取付(付属品共)
  - 2・防振架台撤去
  - 3・あと施工アンカー打ち(金属拡張アンカー) 差筋アンカー-D10 18本  
(既設コンクリートとの接続用)
  - 4・既設コンクリート面清掃
  - 5・溶接金網敷100×100×6
  - 6・架台基礎用コンクリート打ちFc=18-12-20 打放し型枠共
  - 7・コンクリート金コシ押え
  - 8・揚水ポンプ 固定用あと施工アンカー(ケミカルアンカー) 打ち  
(位置、アンカー径は既設ポンプ 合わせとする)
  - 9・排水用金物取付(バンド 固定) ステンレスSUS304HL 40×20×1.5



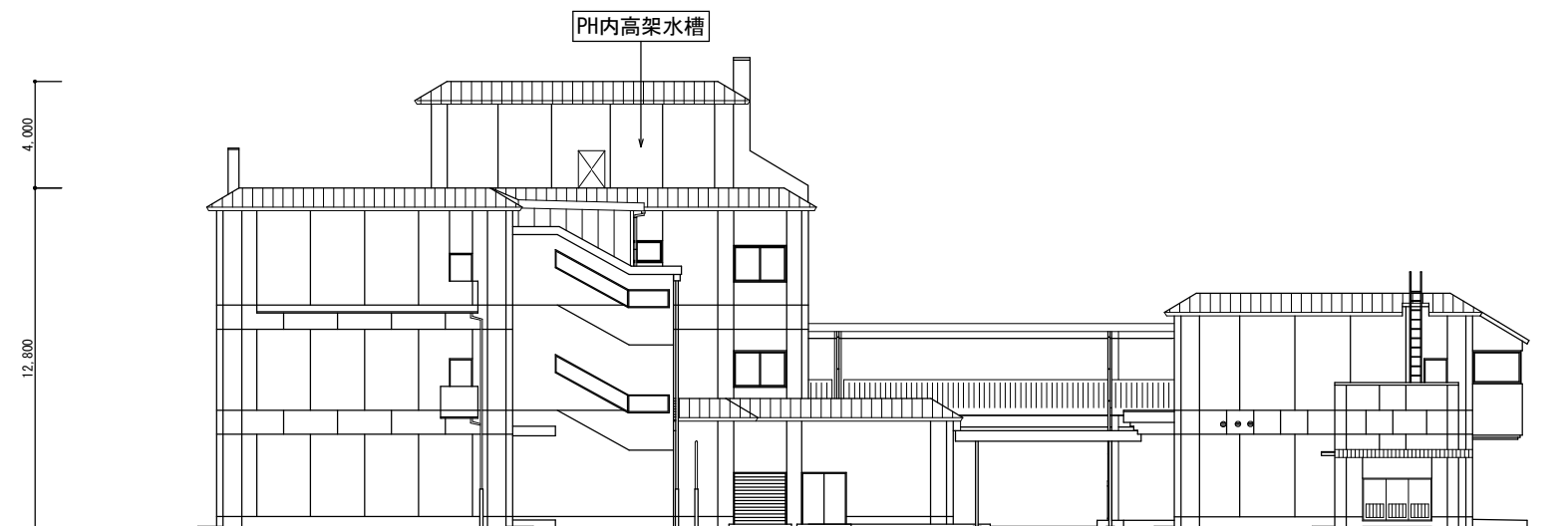
ポンプ廻り平面図(改修前) S=1/30



ポンプ廻り断面図(改修前) S=1/30



北立面図 S=1/200



東立面図 S=1/200



南立面図 S=1/200